

福島県農業総合センター農業短期大学校

# アグリカレッジ福島

FUKUSHIMA AGRICULTURAL COLLEGE

令和6年度  
学校要覧

花を咲かせ  
果を実らせて  
地球を肥やせ



福島県農業総合センター農業短期大学校：アグリカレッジ福島

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地1

Tel 0248-42-4111(代) Fax 0248-44-4553 E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp



アグリカレッジ福島

Q 検索



本館



研究実験棟



学生寮(女子寮)



学生寮(男子寮)



図書室



情報処理演習室



農産加工技術センター



牛舎



園芸施設

## ■ 学校沿革

- 昭和10年3月 福島県立修練農場として設置
- 18年4月 福島県<sup>やぶきがほら</sup>矢吹原修練農場
- 23年4月 福島県<sup>やぶきがほら</sup>矢吹原実験農場
- 25年4月 福島県<sup>やぶきがほら</sup>矢吹原経営伝習農場
- 49年4月 福島県農業経営研修所 矢吹教場
- 54年4月 福島県農業経営大学校
- 63年4月 福島県立農業短期大学校 ※1
- 平成18年4月 福島県農業総合センター農業短期大学校 ※2
- 20年4月 専修学校化（専門課程・本科のみ）
- 29年4月 学部名称変更・学科再編



※1 福島県農業短期大学校（福島市荒井）、福島県農業経営大学校（矢吹町）及び福島県会津農業センター長期研修課程（会津坂下町）の県内3研修機関を発展的に統合し、県内唯一の農業者教育施設として開校。

※2 福島県農業総合センター（郡山市日和町）開場に伴い、県内試験研究機関と教育機関が再編統合され、校名変更。

## ■ 教育目標

実践的な農業の技術力と優れた経営力を備えた地域のリーダーとなる農業者を育成する。

## ■ 教育の方向

- 1 農業経営の実践に必要な知識及び技術に関する教育を行う。
- 2 地域をリードする農業経営者に必要となる経営管理に関する教育を行う。
- 3 国際的な視野に立ち農業情勢の変化に対応できる農業経営に関する教育を行う。

## ■ 教育の特色

### 1 一般教養に加え、農業経営に関する基礎的知識の習得

学生の動向や時代のニーズを踏まえ、基礎学力レベルに応じ、きめ細かな指導により学習意欲を高めるとともに、各分野における専門家や有識者を講師として教養科目を履修し、幅広い教養を身に付けます。また、就農への動機付けと自家就農又は農業法人就職など進路に応じて先進的な経営者から実践内容を直接見聞することにより、農業経営の実践に必要なマネジメント能力を養成します。

### 2 農業に関する知識及び技術の習得

#### (1) 農業の基礎的知識及び技術の早期習得

非農家出身者や高校の農業課程以外からの入校生に配慮し、農学の基礎及び経営管理に関する基礎を入学当初から履修します。また、実習を通じて基礎的作業や農機具の使用法、さらには栽培管理や飼養方法について習得します。指導的立場にある農家において先進農家等留学研修を実施し、生活や農作業を体験することで農業経営全般についての理解を促進します。

#### (2) 専門的知識及び技術の習得

専門科目については、基礎から応用へと体系的に学習します。また、生産分野のみならず、加工技術や商品開発、さらには直接販売の実習を通じて地域産業6次化について学習します。

#### (3) 農業経営に必要な免許・資格の取得

農業経営を実践する上で必要となる免許や資格を幅広く習得します。

### 3 経営シミュレーションによる総合的な実践力の習得

現場の課題から卒業論文テーマを設定し、自ら生産から販売まで一連のプロジェクトとして取り組み、経営シミュレーションの手法も取り入れながら総合的な農業経営を実践する力を習得します。

### 4 地域農業をけん引するために必要な知識の習得

地域資源活用法の習得や、地域内連携のために必要となるコミュニケーション能力について習得します。

### 5 国際化に対応した幅広い視野の習得

国際化など農業情勢の変化に対応する必要があることから、先進的な経営者の実践事例の研究や海外農業の視察などを通して、幅広い視野を身に付けます。

## 農業経営部

### 水田経営学科

修業期間：2年 定員：1学年60名

受験資格：

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者(見込含む)
- (2) 高等学校を卒業した者と同等の学力があると認められる者

### 野菜経営学科

本校は、学校教育法に基づく専修学校に位置付けられています。

### 果樹経営学科

- (1) 卒業生は「専門士(農業専門課程)」の称号が付与されます。
- (2) 四年制大学への編入学試験を受験することができます。
- (3) 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金の利用が可能です。

### 花き経営学科

多くの免許・資格を取得できます。

大型特殊自動車免許(農耕車限定)／けん引自動車免許(農耕車限定)

日本農業技術検定(2級・3級)／毒物劇物取扱者資格(農業用)

日商簿記(3級)／農業簿記(1級)／土壌医検定(3級)

### 畜産経営学科

家畜人工授精師(畜産経営学科のみ)／アーク溶接



## 水田経営学科

定員：15名程度

稲、麦、大豆などの土地利用型農業経営に必要な専門的な知識、技術及び経営管理を学びます。



コンバイン



田植え機



汎用コンバイン

### 主な作物

水稲・麦類・大豆・バレイショ・カンショ

### 主な実習内容等

4月	水稲育苗法
5月	麦類出穂調査、水稲苗質調査、田植機の操作
6月	水稲生育調査、水稲雑草調査、麦類成熟期調査
7月	水稲生育調査、大豆開花期調査
8月	水稲出穂期調査
9月	水稲成熟期調査
10月	水稲収穫調整法、大豆成熟期調査
11月	水稲収量・品質調査
12月	土壌分析演習・卒論設計開始
1月	水稲食味官能評価、経営分析演習
2月	卒論設計終了
3月	土壌分析演習終了

水田の有効活用をテーマとし、稲作と畑作の両分野を学ぶとともに、田畑輪換や輪作体系などの高度利用も学習します。また、担い手不足を念頭においた、ドローンなどのスマート農業技術の活用も実践します。2学年には、稲作と畑作専攻に分かれ、各専攻でより専門的な講義と実習を行います。



## 野菜経営学科

定員：15名程度

県内の野菜生産を担う人材を育成するため、県内の主要な施設・露地品目を中心に、生産販売に必要な知識・技術・経営管理を学びます。



マルチがけ



きゅうり選別・調整



トマト定植



アスパラガス定植

### 主な作物

トマト、キュウリ、アスパラガス、ブロッコリー、ホウレンソウ、ネギ、タマネギ

### 主な実習内容等

4月	収穫調製(トマト・キュウリ・アスパラガス)、育苗・ほ場準備(トマト)、定植(ネギ)
5月	収穫調製(トマト・キュウリ)、ほ場準備・定植(トマト・キュウリ)
6月	収穫調製・病害虫防除(トマト・キュウリ・アスパラガス)、直売実習
7月	収穫調製・病害虫防除(同上)、育苗(ブロッコリー)、直売実習
8月	収穫調製・病害虫防除(同上)、ほ場準備・定植(ブロッコリー)、直売実習
9月	収穫調製(同上)、育苗(タマネギ・トマト)、播種(ホウレンソウ)、直売実習
10月	収穫調製(同上・ネギ・ホウレンソウ)、接木(トマト)、定植(タマネギ)
11月	収穫調製(アスパラガス・ネギ)、定植(トマト)、播種(ホウレンソウ)、直売実習
12月	収穫調製(ホウレンソウ)
1月	育苗(キュウリ)、収穫調製(ホウレンソウ)
2月	卒業論文品目の栽培準備・育苗、接木・定植(キュウリ)
3月	卒業論文品目の栽培準備・育苗、育苗(トマト・ブロッコリー・ネギ)

1学年では講義と実習を通じて基礎的な技術・知識を習得するとともに、GAP（農業生産工程管理）について学び、また、各種研修等により先進技術を学習します。

2学年では、専門的な講義と実習により高度な知識、技術を身に付けることに加え、卒業論文研究を通して、情報収集、課題解決、データ分析、論理的思考等の各能力を醸成して実践力を身に付けます。



## 果樹経営学科

定員：10名程度

果樹の専門的な知識、技術及び経営管理の習得により、県内の果樹産業を担う人材を育成します。



ナシ、ジョイント栽培の収穫



リンゴの収穫



ブドウのジベレリン処理

### 主な作物

モモ、二ホンナシ、ブドウ、カキ、リンゴ

### 主な実習内容等

4月	接ぎ木（切り継ぎ）、防霜対策、貯蔵花粉発芽率調査、花の採取・開花、花粉の貯蔵
5月	着果管理、予備摘果、仕上げ摘果
6月	リンゴ・モモ・ナシ果実肥大調査（収穫まで）、樹相診断、ナシ予備枝誘引
7月	修正摘果、出荷調整（ふじ収穫まで）、モモ果実品質調査、ナシ防鳥対策
8月	ブドウ・ナシ果実品質調査、リンゴ防鳥対策
9月	接ぎ木（芽接ぎ）、礼肥施肥
10月	カキ果実品質調査
11月	リンゴ果実品質調査、基肥施肥
12月	花芽分化率調査、接ぎ穂採取・保存
1月	モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの整枝、せん定
2月	モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの整枝、せん定
3月	土壌改良資材散布、モモ摘らい

樹種複合経営と高品質果実の安定生産の実現に向け、モモ、ナシ、ブドウ、カキ、リンゴの栽培方法と販売方法を2年間で習得します。

また、ブドウとカキで取り組んでいるGAPについて、実践を通してその手法を身に付けます。



## 花き経営学科

定員：10名程度

県内の主要花きを中心に花き経営に必要な専門的知識、技術および経営について学びます。



カスミノウの収穫作業



シクラメンの管理



キンギョソウの出荷準備



ダリアの収穫

### 主な作物

アスター、ダリア、キク、キンギョソウ、カスミノウ、苗物、シクラメン

### 主な実習内容等

4月	一年草播種、キクさし芽、シクラメン鉢上げ
5月	定植ほ場準備、一年草・キク・球根類定植
6月	シクラメン鉢上げ、苗物出荷
7月	切り花収穫（キク、アスター等）
8月	切り花収穫（キク、アスター等）
9月	切り花収穫（キク、カスミノウ等）
10月	苗物・シクラメン出荷、切り花収穫（キンギョソウ等）
11月	シクラメン出荷、球根類の堀上げ・貯蔵、キク親株準備
12月	シクラメン播種、切り花収穫（キンギョソウ等）
1月	切り花収穫（キンギョソウ等）
2月	切り花収穫（キンギョソウ等）、シクラメン育苗、枝物促成
3月	切り花収穫（キンギョソウ等）、キクさし芽、土壌分析

1学年では、切り花・鉢花・苗物の栽培に必要な基本技術・知識を習得し、環境制御装置等を活用した開花調節や収量向上技術、花きの品質向上のための花き日持ち認証の取り組みなどを学びます。

2学年では、卒業論文研究で問題解決能力を高めるほか、花きに関する先進技術や流通、経営について学びます。



# 畜産経営学科

定員:10名程度

自家就農や農業法人への就職により畜産経営を実践する人材を育成します。

### 主な家畜

乳用牛、肉用牛



搾乳作業



毛刈り



除ふん作業



牛体測定

### 主な実習内容等

4月	肥育素牛導入 トウモロコシの播種	<b>家畜の飼養管理</b> 飼料給与 健康状況の観察 搾乳 発情兆候と行動観察 分娩の兆候と介助 除ふん 牛の保定とけん引 投薬 <b>牛体測定</b> 子牛・廃用牛の出荷 飼料の種類と調製 畜舎の環境美化
5月	肥育牛除角 1番草収穫	
6月	2番草収穫	
7月	暑熱対策	
8月	トウモロコシの収穫	
9月	家畜の審査	
10月	牧草播種 稲わら収集	
11月	肥育牛出荷	
12月	寒冷対策、削蹄	
1月	わら収納	
2月		
3月		

自家への就農や農業法人への就職により農業経営を実践する人材を育成するため、乳用牛、肉用牛を対象とした家畜の飼養管理をはじめとして、自給飼料生産、耕種部門との連携、安全・安心な畜産物生産など、畜産経営に必要とされる専門的な知識や技術を学び、幅広く習得します。また、家畜人工授精師の資格取得を目指します。

## ～在校生からのメッセージ～ 私たちと農業を学びませんか？

私は、小さいころから花き農家になりたくて、農業について学びたいと思い、この学校に入りました。農業を少しも知らない私がこの学校でちゃんと学んでいけるのだろうか、しっかり農作業ができるのだろうかと不安になりました。ですが、1から先生に丁寧に教えてもらえて、同じスタートラインに立っている仲間たちと協力しあいながら、学校生活を楽しんでいます。2年間の学校生活ではありますが、短いなあ…と感じさせないくらい充実した生活を送れますので、ぜひ！この学校に入ってみませんか？



花き経営学科2年 酒井 睦生



果樹経営学科2年 蛭田 周夏

農業の知識をさらに得て、その力で実習助手という夢に向かっていきたい、それが私の入校の目的です。入校して1年が経ち、各々が自分のやるべきことを見つけ、努力しています。短大の生活では、講義、実習、農家留学研修、海外研修と様々な内容に取り組んでいます。

高校時代と比べ、授業の内容は深く濃くなり、講義時間が90分ということに抵抗がありましたが、今では苦になることなく講義を受けられます。私が予想していたよりも2年間は短いですが、この短大での時間を社会に飛び出していくための準備期間にさせていただきます。

私は、農業高校出身ですが、ここで学ぶことは私にとって新しいことばかりで、毎日がとても楽しいです。同じ高校からこの学校に進学した人がおらず、最初は友達が出来ることが心配でしたが、友達にも恵まれ楽しいキャンパスライフを送っています。

また、私は自宅が遠いため寮生活をしています。寮は古く過ごしづらいところもありますが、寮の仲間と鍋を食べたり、雪合戦をする時間はかけがえのない時間です。



水田経営学科2年 園邊 孝次

## 主な年間行事



球技大会



植付祭



先進農家等留学研修



直売実習



榊隆祭



就農相談会



意見発表会



卒業論文発表会



卒業式

## 年間行事予定

月	前期	月	後期
4	始業式 入校式	10	始業式 榊隆祭
5	卒業論文設計発表会 スポーツ大会	11	収穫祭 球技大会 意見発表会
6	植付祭 学生自治会総会 学生寮自治会総会 先進農家等留学研修(第1班)	12	卒業論文発表会 学生自治会総会 学生寮自治会総会 冬期休業
7	学校記念日	1	東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会
8	夏期休業 オープンキャンパス 先進農家等留学研修(第2班)	2	全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会 後期試験
9	前期試験	3	卒業記念講演 卒業式 春期休業

## 学生の1日

	寮生	通学生
7:00	起床	登校 授業準備
7:45 ~ 8:20	朝食	
8:20 ~ 8:50	授業準備	
8:50 ~ 10:20	授業(1校時)	
10:30 ~ 12:00	授業(2校時)	
12:00 ~ 12:45	昼食	
13:10 ~ 14:40	授業(3校時)	
14:50 ~ 16:20	授業(4校時)	
16:20 ~ 18:00	課外活動(クラブ、自治会活動ほか)、自主学習	
17:45 ~ 18:30	夕食	帰宅
18:30 ~ 21:45	自由時間(入浴、自主学習、バイト等)	
23:00	門限	
23:30	就寝	

## 履修科目

教養科目	共通	生物基礎、化学基礎、数学基礎、国語表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、人間と社会、体育、教養講座	225時間
	択一選択	就農講座Ⅰ・Ⅱ or 農業法人等就職講座Ⅰ・Ⅱ	
専門科目	共通	農業経営、農業経営演習、農業法規、農業関連産業論、簿記概論、農業情報処理基礎、農業情報処理応用、農業情勢Ⅰ・Ⅱ、土壌肥料概論、農業機械、農業機械基礎実習、農業機械操作実習Ⅰ、マーケティング論、マーケティング演習、食品製造、スマート農業実践、GAP概論、卒業論文	615～720時間 (うち、実習90～135時間)
	自由選択	簿記検定講座、毒物・劇物取扱解説、毒物劇物取扱者資格講座、農業機械操作実習Ⅱ	
	水田 野菜 果樹 花き 学科共通	農業概論、作物保護、植物生理、環境保全と農業、有機農業、農産物流通、農学実験	1,725時間 (うち、実習1,440時間)
	水田	先進農家等留学研修、水田経営研修、作物経営実習、水田経営基礎、水田経営応用、水田経営実践、食品製造演習	
	野菜	先進農家等留学研修、野菜経営研修、野菜経営実習、野菜生産概論、野菜栽培各論、野菜経営各論、食品製造演習	
	果樹	先進農家等留学研修、果樹経営研修、果樹経営実習、果樹生産概論、果樹栽培各論、果樹経営各論、食品製造演習	
	花き	先進農家等留学研修、花き経営研修、花き経営実習、花き生産概論、花き栽培各論、花き経営各論、フラワー装飾演習	
	畜産	畜産概論、家畜育種学、家畜繁殖学Ⅰ・Ⅱ、家畜栄養学、家畜衛生学、畜産環境保全、家畜解剖生理学、家畜解剖実験、先進農家等留学研修、畜産経営研修、畜産経営実習、乳用牛・肉用牛概論、飼料作物、食品製造演習	
(択一選択)	乳用牛飼養管理技術応用、乳用牛経営 or 肉用牛飼養管理技術応用、肉用牛経営		

※上記の時間数に学校行事180時間を加え、在学2年間で2,745～2,850時間履修します。

## 実践学習体系（経営実習・卒業論文）

主体的に学習に取り組むため、一人一農場・区画を基本とし生産から販売まで一連の過程を実践するプロジェクトにより農業経営力を身につける学習を展開します。その成績を卒業論文としてまとめ、経営者感覚を磨きます。

1 学年		2 学年	
4～6月(適応力養成期間)	7～3月(実践力養成期間)	4～6月(実践力アップ期間)	7～3月(総括期間)
<b>教育目標</b> 自主性の養成 (自立心と協調性の醸成) <b>到達目標</b> 実践を通して学習の目標を持つ (1)経営学科実習を通し、農業の基礎を学ぶ (2)実践学習の特徴を理解し、目標を持つ	<b>教育目標</b> 主体性・実践力の養成 (学習意欲の高揚) <b>到達目標</b> 農業の魅力を実感し将来の経営目標を設定 (1)プロジェクト学習の基礎を学ぶ (2)学習のまとめ、分析の基礎を学ぶ (3)海外農業研修で国際感覚を養う	<b>教育目標</b> 豊かな人間性と主体性の確立 (リーダーシップの確立) <b>到達目標</b> 主体的な取組により、実践学習の効果を高める (1)卒業論文を通じ、農業者としての課題解決手法を位置づける (2)卒業論文の作成や先進農業者事例を学び、経営感覚を養う	<b>教育目標</b> 実践力のある農業者の育成 <b>到達目標</b> 優れた経営感覚の醸成 (1)卒業論文のとりまとめ、発表
<b>●基礎実習</b> 経営学科ごとに、ほ場、施設を活用しての基本技術の習得を重点的に行います。 <b>●先進農家等留学研修</b> 先進的な農業を実践している農業者・農業法人の経営や技術、生活を2週間かけて実際に体験することで、農業に対する取組や考え方を直接肌で感じ取り、豊かな農業観や職業観を学びます。 <b>●海外農業研修</b> 海外での多様な農業経営を調査し、将来の農業経営の礎とするため、海外農業研修を実施しています。 (過去実績) R5年度 ニュージーランド(7日間)または、タイ(6日間) <b>●卒業論文設計</b> 2年生による卒業論文発表の聴講・質疑を通して卒業論文への理解を深め、実家の営農や地域農業の現状、技術動向を踏まえ、論文計画を作成します。		<b>●企画研修</b> 学生自身が企画立案し、県内外の先進的な取組や流通・販売、さらには関係機関や施設等を見学することにより農業に関する幅広い知識を習得します。 <b>●卒業論文研究</b> ●データ収集 <b>●中間検討会</b> ●卒業論文発表会 専門科目、経営実習等で学んだ専門知識、技術の集大成として卒業論文の執筆に取り組み、自己解決能力を醸成するとともに、発表会を通して自己表現能力を養います。 卒業論文発表会では、「東日本農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」に出席する代表者を選定します。	

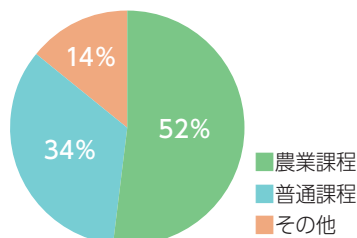


学生概況・学生数 ( )内は女子

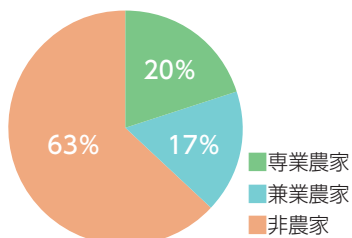
	水田経営学科	野菜経営学科	果樹経営学科	花き経営学科	畜産経営学科	合計
1学年	8 (1) 名	15 (4) 名	8 (3) 名	5 (4) 名	7 (0) 名	43 (12) 名
2学年	9 (0) 名	15 (2) 名	11 (1) 名	8 (2) 名	12 (6) 名	55 (11) 名
合計	17 (1) 名	30 (6) 名	19 (4) 名	13 (6) 名	19 (6) 名	98 (23) 名

学生内訳

①出身高等学校課程別



②農家・非農家別



③出身地域別

区分		人数	区分		人数
県内	県北	26名	県外	岩手県	1名
	県中	28名		茨城県	1名
	県南	7名		栃木県	1名
	会津	13名		東京都	3名
	南会津	1名		埼玉県	2名
	相双	6名		神奈川県	1名
	いわき	7名		大阪府	1名

令和5年度までの卒業生 ( )内は女子

本科	1,901 (444) 名
研究科	107 (18) 名

卒業生の進路(過去3年間)

卒業後の進路	卒業年度	就農			就職					進学	その他	合計
		自家	法人	研修	農業団体・農協	関連産業・農業	他産業	公務員	臨時職員			
	令和5年度	5名	16名	0名	3名	12名	4名	4名	0名	1名	0名	45名
	令和4年度	9名	11名	0名	7名	15名	3名	2名	0名	0名	1名	48名
	令和3年度	5名	19名	1名	3名	15名	6名	5名	0名	2名	2名	58名

就農	自家	県内各地
	法人等	(有)I Love ファームおだか、JA 全農福島菌床しいたけイノベーションセンター、会津農匠(株)、(株)アルプスアグリキャリア、(有)いわき中央牧場、内山牧場、(株)紅梅夢ファーム、(有)郡山アグリサービス、(福)こころん、佐藤牧場、(株)自宇、(有)スカイファームおざき、(株)東西しらかわグリーンファーム、(株)ナラハプラントファクトリー、成田牧場、(有)仁井田本家あぐり、(株)ネクストファームいわき、(株)ビーフジャパン、(農)ひかり、ピクアジェネティクス(株)、福島舞台ファーム(株)、プランテーション小高、ふるや農園、(有)フロンティア、ベルグアース(株)、ベルグ福島(株)、(株)ベルファーム、(株)的場アグリサービス、マルナカファーム(株)、(株)みちのく白河農園、(農)結乃村農楽団、楳園芸(株)、(株)吉野家ファーム福島、渡辺果樹園
	研修	林業アカデミーふくしま
農協・農業団体	JA 会津よつば、JA 全農福島、JA ふくしま未来、JA 夢みなみ、JA 福島さくら、(株)全農ビジネスサポート、全酪連農業技術研究所、(公社)福島県畜産振興協会、福島県酪農業協同組合	
農業関連産業	(株)JA ライフクリエイト、会津天宝醸造(株)、グラントマト(株)、コープ食品(株)、(株)郡山大新青果、(株)コメリ、清水食品(株)、スガノ農機(株)、(株)ダイユーエイト、(株)東北むらせ福島工場、トレ食(株)、(株)原町中央青果市場、(株)福島県食肉流通センター、(株)南東北クボタ、(株)山新、ヤンマーアグリジャパン(株)、酪王協同乳業(株)、(株)中セキ東北	
他産業	(株)IDOM(ガリバー)、(株)エイジェック、(福)北信福祉会、庄司菓子店、上新電機(株)、ツルハホールディングス(株)、東北江南(株)、南双サービス(株)、日本精工(株)、(株)日向、(株)ライフランド	
公務員	(独法)家畜改良センター、農研機構、福島県公立高校実習助手、福島県動物管理員、福島県農場管理員、陸上自衛隊一般曹候補生	
進学	日本大学工学部編入、ケイセンビジネス公務員カレッジ進学、放送大学進学	

# アグリカレッジ福島 Q&A

<p><b>Q 受験を考えているのですが、学校の見学は可能ですか？</b></p> <p>A 土・日・祝祭日、学校行事日を除いていつでも可能ですが、前もって御連絡いただきますようお願いいたします。ほか、オープンキャンパスを7/21(日)、7/26(金)、8/3(土)の3日間開催予定です。ぜひお申込みください。 (担当：農業経営部教務管理 TEL 0248-42-4113)</p>	<p><b>Q 食事について教えてください。</b></p> <p>A 本校には食堂があり、朝、昼、夕の指定時刻に利用することができます。ただし、土曜日、日曜日、祝祭日、学校指定休日のほか、週明け最初の朝食と週末の夕食の提供はありませんので、各自で用意する必要があります。</p>																																							
<p><b>Q 私の家は農家ではなく、農業の知識もありませんが、入校できますか？</b></p> <p>A 大丈夫です。令和5年4月時点で、63%の学生が非農家出身です。農業を知らなくても卒業までに農業の知識、技術が習得できるよう段階的にカリキュラムを組んでいます。1学年の前期には作物・園芸・畜産の概論など、農業の入門的な科目から始め、併せて農機具の使用法、施肥の仕方など農業の基本となる実習を行います。後期からは各専門分野の科目履修が始まり、2学年では専門分野の講義、実習となります。</p>	<p><b>Q インターネットは使用できますか？</b></p> <p>A 学生寮・学生ホールに学生用Wi-fiを整備しており、無料で利用できます。</p>																																							
<p><b>Q 私の家は福島県外ですが、入学はできますか？</b></p> <p>A 福島県外の方でも入校可能です。</p>	<p><b>Q 自家用車の持ち込みはできますか？</b></p> <p>A 寮生・通学生ともに持ち込むことができます。持ち込みに際しては学校の許可が必要です。寮生、通学生それぞれ指定された駐車場を使用することとなります。</p>																																							
<p><b>Q 受験の手続きはどうすればいいですか？</b></p> <p>A 詳しくは学生募集要項を御確認ください。県内各高等学校又はお近くの農林事務所農業振興普及部、農業普及所にお尋ねいただくか、本校へ御請求いただきますようお願いいたします。</p>	<p><b>Q 学校にエアコンはありますか？</b></p> <p>A 教室、図書室にはエアコンがあり、夏期に使用しています。学生寮は各階の談話室に設置しています。令和7年度から利用する(仮称)ふくしま農業人材育成センターでは、研修施設のほか、学生寮の各居室にもエアコンが設置される予定です。</p>																																							
<p><b>Q 学生寮について教えてください。</b></p> <p>A 本校は、入寮を希望する学生が入寮できる寮があります。男子はけやき寮、女子はせんだん寮で過ごし、充実した寮生活を過ごせるよう学生寮自治会という学生自治組織が主体となり運営されています。令和7年度からは、新設される(仮称)ふくしま農業人材育成センターの中に、新しい学生寮が設置されます。</p>	<p><b>Q 海外農業研修にかかる費用について教えてください。</b></p> <p>A 下記所要経費とは別に、40万円ほど必要です。費用の納入については、①40万円を一括納入、②前期・後期で10万円ずつと月2万円積立を併せての納入、③前期・後期で20万円ずつ納入のいずれかを選択してください。</p>																																							
<p><b>Q 入学金や授業料、在学中にかかる所要経費はどのくらいですか？</b></p>																																								
<p>A</p> <table border="1" data-bbox="233 1429 1362 1659"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th></th> <th>入校料</th> <th>授業料</th> <th>教材費等※</th> <th>後援会・同窓会</th> <th>食費</th> <th>自治会費 月1800円</th> <th>寮自治会費 月5000円</th> <th>光熱水費</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1学年</td> <td>寮生</td> <td rowspan="2">5,650円</td> <td rowspan="2">118,800円</td> <td rowspan="2">275,400円</td> <td rowspan="2">53,000円</td> <td>260,000円</td> <td rowspan="2">21,600円</td> <td rowspan="2">60,000円</td> <td rowspan="2">120,000円</td> <td rowspan="2">914,450円</td> </tr> <tr> <td>通学生</td> <td>100,000円</td> <td>574,450円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2学年</td> <td>寮生</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">118,800円</td> <td rowspan="2">230,400円</td> <td rowspan="2">53,000円</td> <td>240,000円</td> <td rowspan="2">21,600円</td> <td rowspan="2">55,000円</td> <td rowspan="2">120,000円</td> <td rowspan="2">838,800円</td> </tr> <tr> <td>通学生</td> <td>95,000円</td> <td>518,800円</td> </tr> </tbody> </table> <p>直近の徴収額を基にした概算です。経費の納入は、1年分を一括又は分割して納めていただきます。畜産経営学科は、2学年時に人工授精師講習のため、追加で35,000円の経費がかかります。 ※教材、保険、資格取得ほか</p>		学年		入校料	授業料	教材費等※	後援会・同窓会	食費	自治会費 月1800円	寮自治会費 月5000円	光熱水費	計	1学年	寮生	5,650円	118,800円	275,400円	53,000円	260,000円	21,600円	60,000円	120,000円	914,450円	通学生	100,000円	574,450円	2学年	寮生	-	118,800円	230,400円	53,000円	240,000円	21,600円	55,000円	120,000円	838,800円	通学生	95,000円	518,800円
学年		入校料	授業料	教材費等※	後援会・同窓会	食費	自治会費 月1800円	寮自治会費 月5000円	光熱水費	計																														
1学年	寮生	5,650円	118,800円	275,400円	53,000円	260,000円	21,600円	60,000円	120,000円	914,450円																														
	通学生					100,000円					574,450円																													
2学年	寮生	-	118,800円	230,400円	53,000円	240,000円	21,600円	55,000円	120,000円	838,800円																														
	通学生					95,000円					518,800円																													
<p><b>Q 奨学金の利用や、授業料の減免等の措置は受けられますか？</b></p> <p>A (1) 日本学生支援機構の奨学金を利用することができます。 (2) 本校を卒業後、1年以内に農業経営を開始する、又は農産物を生産する会社に勤める等、条件を満たす場合は新規就農者育成総合対策(就農準備資金)の給付を在学中に受けることができます(年間最大150万円、最長2年間)。 (3) 以下に該当する場合、入校料及び授業料が減額又は免除される場合がありますのでご相談ください。 ①天災等により著しく損害を受け授業料納入が困難であると認められた方 ②大学等における修学支援に関する法律による認定(授業料等減免対象者の認定)の申請をした方</p>																																								

## 研修部

一般農業者及び就農を目指す方を対象とした研修を実施しています。

### 就農研修

初級 中級

### 長期就農研修

### 農産加工研修

基礎 応用 技術

### 農業機械研修

安全運転技術総合コース

技術向上コース

現地支援研修



## アグリカレッジ福島トピックス

# (仮称)ふくしま農業人材育成センター 建設中！

実践的な学び、革新的で最先端の攻めの農業をけん引するリーダーを育てる農の拠点として、本校敷地内に、ふくしま農業人材育成センター（仮称）を建設中です。

研修施設と学生寮が一体化し、令和7年度から入寮することができる見込みです。集団生活の楽しさとプライバシーの確保を両立し、緑にあふれた寮となる予定ですので、ご期待ください。

完成  
予想図



# ■ 施設・配置

## 1 面積

建物敷地	5.9ha
ほ場	25.9ha
水田	7.4ha
普通畑	2.9ha
樹園地	2.7ha
牧草地	12.9ha
山林	9.8ha
その他	10.5ha
計	52.1ha

## 2 主な施設

学習施設	本館(教室、教養ホール、視聴覚教室、講師室、職員室、事務室、会議室) 研究実験棟(各学科室、学科教室(ゼミ室)、実験演習室) 多目的学習棟(図書室、情報処理演習室、学生ホール) 男子寮(けやき寮)、女子寮(せんだん寮)、食堂、体育館
実習施設	実習教育棟、作業棟、機械格納庫、果実選果場、 温室(養液栽培・育成栽培管理)、パイプハウス、畜舎(乳牛・肉牛・肥育牛)
研修施設	農業機械実習棟(整備実習室)、トラクタ運転練習コース、農産加工技術センター



## ■ アクセス



令和6年度オープンキャンパス		
第1回	第2回	第3回
R6.7.21(日)	R6.7.26(金)	R6.8.3(土)
お問合せ先: 農業経営部教務管理 (0248-42-4113)		

令和6年度榊隆祭	R6.10.20(日)
----------	-------------

令和7年度学生募集(予定)		
	願書受付	試験日
推薦入試	R6.10.1(火)~15(火)	R6.11.1(金)
一般入試(前期)	R6.11.20(水)~12.9(月)	R6.12.18(水)
一般入試(後期)	R7.1.14(火)~31(金)	R7.2.10(月)



## アグリカレッジ福島

〒969-0292 福島県西白河郡矢吹町一本木446番地 1  
Tel 0248-42-4111(代) Fax 0248-44-4553  
E-mail nougyou.noutan@pref.fukushima.lg.jp



学生募集や大学校生活に関する質問など、お気軽にお問合せください。  
受付時間/8:30~17:15  
土日祝日・年末年始を除く